

発言議員	議案案件名・要旨	答弁者
<p>3番 永沼正人議員</p>	<p>1. 市職員の定数削減と職員のやる気を引出す人事評価システムの構築について 一般会計当初予算が180億から150億へ。予算で動く行政で予算が減ることは仕事が減ること。政策的経費を捻り出すためには固定費の減額が必要不可欠。よって職員定数の見直しを行うとともに一律カットではないやる気を引出す人事評価システムを新たに構築するべき。</p> <p>① 職員定数の削減を行うべきと思うがどうか ② 新規雇用は削減目標達成まで凍結するべきであると思うがどうか ③ 民間派遣職員の活用や業務自体をアウトソーシングすることができるか ④ 職員給与の一律カットは取りやめ、実情に即した能力実績に応じた給与システムを構築できないか ⑤ 優れたスキルや資格取得者の数値評価による給与・人事評価システムが構築できないか</p> <p>2. 市役所開庁時間の延長について 市役所が1年365日（法定電気点検などどうしても開庁できない場合は除く）午前7時30分～午後6時30分の営業時間で住民サービスできないかどうか ① 市民の安心感の向上、乖離しつつある市民との距離を縮めるために必要だと思うがどうか ② できない場合は、なぜできないのかその理由</p> <p>3. 彩北広域清掃組合の清掃センターについて ① 羽生市は彩北広域清掃組合から離脱するのか ② 本事業計画を継続した場合と羽生単独で新規に清掃センター（含むリサイクル施設、プール・浴場など）を設置した場合のコスト比較（本事業計画と比較的新しい羽生と同規模のセンター建設及び運営費）厳しい羽生市の財政を踏まえ、市民にとってどちらが有利なのかをお伺いしたい</p> <p>4. パソコンのリサイクルについて 隙間ビジネスといいますが、ネットでパソコン半角スペース廃棄などを入力すると多くの業者等がHITします。これはかなり利益のする事業のようです。しかし、正規の処理を行うと処分したところ1台あたり7,000円以上かかった。さてこれは廃棄するPCの程度にもよりますが、有料で処分するぐらいなら、市が無料で回収してくれたらどうでしょう。喜んで手放すユーザー。そして市がこれら中古PCをリユースしたらどうでしょう。ワープロ、簡単な表計算程度であれば、型が多少古くとも十分使えます。お年寄りや子供たちのPC教室で使用するか、貸与するとかで有効活用できないでしょうか。どうにも使えなくなったものを最後に処分。これも例えば、ある程度の数量やPCを分解してパーツを分類しておけば、民間の廃業者が有料で引き取ってくれるとおもいます。こうした羽生市独自のPCのリユース、リサイクル制度を創設していただけないかお伺いしたい。</p> <p>5. 学校等における不審者対策について 報道によると、一次的な護身用には「刺股（さすまた）」は役に立たなかった・・・。（それはそうですよ、あんな大きいものを常に身近には置けません。） そこでこんなアイテムの購入または購入費補助制度（学校関係者への）を設けたらどうか。（別添資料のとおり：商品名「ネットランチャー」 福島県西郷村に製造所を持つ「日本工機」という銃砲弾メーカー（防衛庁に納入）が開発（本社は東京都港区）。1台税込20,790円。全長39cm重さ800g。機の引出し等にしまえ、いざというときは不審者に向けて構えスイッチを押すと「網（ネット）」が飛び出し不審者を絡めとるもの。</p>	<p>③ 総務部長</p> <p>”</p> <p>① 市長 ② 経済環境部長</p> <p>”</p> <p>④ 教育長</p>
<p>1番 小野幸夫議員</p>	<p>1. 障害者雇用に市民の理解を</p> <p>2. 市職員に対する普通救命講座の再開と自動除細動器の配備について 価格は1台30万円位 市庁舎・文化ホール・市民プラザ・体育館に配置しては。</p>	<p>① 経済環境部長 ② 教育長 ③ 消防長</p>